



“ひろしまそだち” だより

発行 平成10年3月20日

ひろしまそだち特産化推進協議会
事務局 財団法人広島市農業振興センター
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12
TEL (082) 845-4376

第4号

ひろしまそだち産品定着

“ひろしまそだち”特産化事業は、今年度で4年を経過しました。

マーク表示された野菜は、ほとんどのスーパー、青果店でみられるようになりひろしまそだち米「JA広島市のひのひかり」も「おいしい」と好評のほか、白木牛についても販売協力店ができるなど

順調に市内に定着しています。

また、生産面においても「野菜の減農薬化」をはじめとした市民に信頼される特産品づくりに力が注がれています。さらに、市場出荷単位に満たない小口産品は直売向けに生産が飛躍的に伸びています。

内 容

- ひろしまそだち産品定着 P1
- 特産化の取り組み進む P2
- 枝豆・ふるさと産品の流通好評 P2
- 減農薬化着実な進展 P3
- おいしい米づくり P4
- おいしい白木牛 P4
- 野菜で健康な体づくり P4
- イベントでPR P5
- 活気あふれる直売所 P6

市場・販売店でマーク表示品増加！

「一目で地場産とわかるように」と、JA及び各生産者グループで平成8年度から産品や出荷箱等へのマーク表示を進めてきた結果、

マーク付きの産品が大幅に増え、市場をはじめスーパー、小売店などで「地場産品が一目で区別でき買いやすい」と好評を得ています。



市場に並ぶひろしまそだち産品



ひろしまそだち取扱店



販売店に並ぶ産品

—“ひろしまそだち”

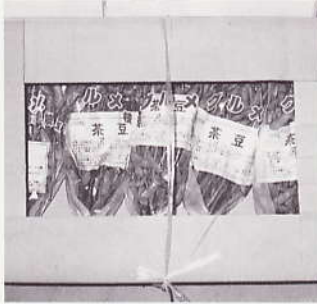
特産化事業は—

安全・高品質・栽培方法など、特徴ある農畜水産物の開発・普及をし、生産・流通・消費まで一体となった販売対策を行うことにより生産者には高付加価値型農業の展開を、消費者には信頼のおける農畜水産物の提供を目的とし、関係機関が一体となって推進している事業です。

特産化の取り組み進む

茶豆を6,000束出荷

安芸区瀬野川・阿戸町



出荷された茶豆

平成8年、試作から始まった茶豆栽培は、2年目の平成9年、安芸区瀬野川及び阿戸町の両地区で15戸が50aまで面積を拡大し6,000束を市場出荷しました。

茶豆は新潟・山形県が主産地の枝豆の一品種で、独特の風味があり、グルメ枝豆として人気があります。

栽培に取り組んだ農事研究会の今井伯次・植田宣志両会長は「出荷労力配分を考えた作付計画を立てれば、まだまだ面積拡大は可能。来年はスーパーでの試食販売を行い消費拡大を図りたい」と語っていました。

バイテク水ブキ3,500本供給

安佐北区・安佐南区



水ブキの生育状況

広島市農業振興センターは平成9年度、約3,500本の水ブキのバイテク苗(35a分)を約50名の生産者に供給しました。

在来種に比べて「収量が5倍」といわれるバイテク水ブキの特産化は先進事例である安佐北区可部町大野地区を筆頭に同柳瀬・今井田地区、安佐町追崎地区、安佐南区沼田町奥畑地区などで、取り組みが進んでいます。平成9年度に供給された苗からは、最高18tの収穫(1,000万円相当)が見込まれています。

広島菜の新産地

安佐北区白木町



広島菜の収穫

安佐北区白木町の汗平、大楯、福永の3地区では、広島市特産の広島菜を農家9戸が10aで栽培しました。

本年度は、生育が全般的に順調であり、食味も12月2日に実施した試食会において高い評価が得られました。今後の新産地としての定着と面積の拡大への好材料となりました。

タラの芽で山菜の里

安佐北区安佐町



タラの芽の促成

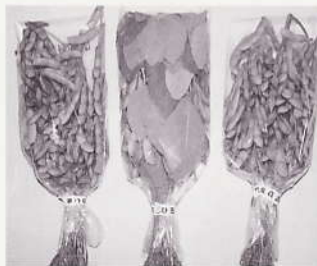
安佐北区安佐町生砂地区は、8名の生産者が約3aの圃場に定植したタラノキをもとに12月からハウスで促成し、本年1月から出荷にこぎつけました。

生産者の一人、谷口義美さんは「去年、市場や徳島の先進地を見て勉強し、今やっと軌道に乗せたところです。今後、面積の拡大と新品目を取り入れた山菜の里にしたい」と話していました。

枝豆・ふるさと製品の流通好評

枝付き袋詰め出荷量増加

枝豆流通実験



枝付き袋詰め

安佐南区佐東町農事研究会はおいしい枝豆の流通を始めて3年目の本年度、課題であった作業能率アップに見通しをつけました。

本年度の実験は平成9年7月1日から8月14日まで実施し、市場出荷品の荷姿を「莢もぎ」から「枝付き袋詰め」に変えたことで作業能率が上がり、出荷量を日量約100kgと大幅に増加させました。販売店からも好評を得ており、一層の定着化が望めます。

安全・健康志向の製品に高い評価

ふるさと製品流通実験



ふるさと製品

市内生活改善グループなど4団体は、ふるさと製品の販路拡大を目的に平成9年7月から9月までの3ヵ月間、市内のデパート、スーパー及び自然食品取扱店に健康茶、ふりかけ、クッキー、佃煮など10品目を出荷しました。

消費者及び販売店からは安全・健康志向の製品に対し高い評価が得られました。出荷者の山本雅子さんは「直売以外の販路を今後も拡大していきたい」と話していました。

イベントでPR

今年度も生産者、飲食業界、青果小売組合、消費者など関係団体はイベントなどで“ひろしまそだち”をPRしました。①3年目になるフードフェスタでは朝市・レストランが定着し好評であったほか、市内の飲食

店やホテルでは“ひろしまそだち”の食材を使った新しい料理が誕生しました。また、②消費者協会の現地学習会や③ワールドフードフェアでの減農薬野菜のPRによって消費者の理解を深めることができました。

フードフェスタ広島'98

3年目“ひろしまそだち”産品・料理定着

ひろしまそだち朝市・レストラン「ひろしまそだち」



大勢でにぎわうひろしまそだち朝市・レストラン「ひろしまそだち」コーナー

食とふるさとの祭典「フードフェスタ広島'98」は、平成10年2月21日・22日の両日、県立総合体育館をメイン会場とし「むらとまち ひとつになってMADE IN HIROSHIMA」をテーマに開催されました。

ひろしまそだち朝市では生産者、JAによる地域自慢の野菜、花き、牛肉、卵、米、農産加工品のPR販売が行われました。会場を訪れたお客さんの一人は「スーパーでも産地表示は必ず見るようにしていますが、このマークのものが最近目につき安心して買うことができます」と話していました。

また、レストラン「ひろしまそだち」では地元の新鮮な食材を使ったプロの料理に多くの市民が列をなし「おいしさ」を堪能しました。

31店で名物料理誕生

ひろしまそだち一店一名物料理

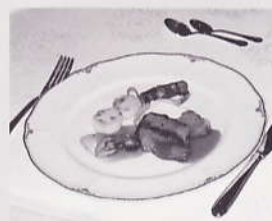


中区新天地のお好み村「山ちゃん」で白木・観音ネギのネギ焼きを提供した木村さん

フードフェスタ広島'98の開催に先立ち平成10年2月9日から22日の間、広島市内の飲食店31店舗協賛で地元の食材を使った料理を市民に提供する、ひろしまそだち一店一名物料理の催しが開催され、地元の素材の良さを再確認する絶好の機会となりました。期間中に、ネギ焼きを食べにきたお客さんの一人は「ネギは好きなのでよく食べますが、やはり地元の野菜はおいしく感じます」と話していました。

ひろしまそだちフルコース

ひろしまグルメの饗宴「ザ・ホテルズ」



プリンスホテルでの白木牛と牡蠣を使ったフルコースの中の1品

平成10年2月上旬から3月上旬にかけて、フードフェスタ広島'98の協賛イベントとして、市内の4つのホテルでは、ひろしまそだち産品を使用したスペシャルメニューを提供しました。協力をいただいたホテルでは、フルコースの全てにひろしまそだち産品をアレンジした料理が提供されました。

白木牛、牡蠣、オガワラ卵、シュンギク、コマツナ、ホウレンソウ、観音ネギ、祇園バセリ、広島菜漬、JA広島市のひのひかり

使用したひろしまそだち産品

広島プリンスホテル
広島ワシントンホテルプラザ
ホテルグランヴィア広島
広島全日空ホテル

協賛ホテル

水ブキ農家・酪農家で現地学習会

消費者交流会



熱心に説明を聞く参加者

広島消費者協会は、平成9年6月4日にバイテクと農業についての学習会を開催し、先端技術が農業分野で生かされている現場を視察しました。

野菜農家では、水ブキのウイルスフリー苗の優秀性を、畜産農家では受精卵移植の手法及び成果を研修し、ひろしまそだちに対する認識を深めました。

減農薬野菜をPR

ワールドフードフェア



減農薬に興味を示す来場者

広島市内の野菜や果物の流通関係者で組織される広島市青果物消費促進協議会（会長 力山英明）は、平成9年11月14日から16日の3日間、西区商工センターで開催された「'97ワールドフードフェアひろしま」において、青果物の消費拡大を目的にひろしまそだち産品と減農薬野菜をPRしました。



活気あふれる直売所



“ひろしまそだち” 特産化事業が始まった平成6年度以降新たに15の直売所(有人)ができ、新会員434名が産直の取り組みを始めました。それぞれ、グループの皆さんが一丸となって新鮮・安全・安価な野菜・花・加工品などを販売しており、直売所は活気に満ちています。

平成9年度



◀ ルート54フェスタ
安佐南区中筋三丁目
JA広島市中筋支店
毎月第4土曜日
9:00~12:00



◀ 落合レディースクラブ朝市
会員24名 代表 大原 勝美
安佐北区落合二丁目
JA広島市落合支店
金曜日9:00~
12:00



▲ JAアグラス青空市場 上安店
会員56名 代表 亀谷 三七夫
安佐南区上安二丁目
上安バスターミナル屋上
(ベルガーデン広場)
火曜日15:00~17:30



◀ アグリレディース河内
会員32名 代表 田尾 登美子
佐伯区五日市町上河内
JA広島市河内支店
土曜日9:00~
完売まで



◀ 青空市場フレッシュ石内
会員20名 代表 田中 孝雄
佐伯区五日市町石内
県道石内線下沖交差点角
土曜日9:00~完売まで

平成7年度



◀ 追崎直売所
会員14名 代表 重平 八重子
安佐北区安佐町追崎
国道191号線加計町境
毎週土・日曜日
7:00~完売まで



◀ アムケット戸山
会員30名 代表 若森 憲雄
安佐南区沼田町伴
県道38号線
JA広島市下伴支店
火・木・土曜日
9:00~12:00



◀ ウエルネス生石子
会員28名 代表 宮原 美智恵
安芸区瀬野五丁目
JR瀬野駅北東300m
本郷福富線沿い
火~日曜日8:00~完売まで

平成8年度



◀ よがんす可部
会員22名 代表 溝上 勝人
安佐北区可部中央一丁目
国道54号線
JA広島市可部中央支店
火・木・土曜日
8:00~12:00



◀ 福田ふれあい市場
会員25名 代表 中池 慶荘
東区福田四丁目
JA広島市福田支店
月・水・金曜日
8:30~完売まで

平成6年度以降にできた
直売所(有人)

ひろしまそだち



平成6年度



◀ JAアグラス青空市場
会員56名 代表 福本 盛人
安佐北区安佐町飯室
国道191号線コムズ安佐パーク前
土曜日7:00~
11:30



◀ バザール神ノ倉
会員52名 代表 古川 ハル子
安佐北区白木町原大寺
県道31号線沿い
水・土・日曜日
8:00~12:00



▲ 山本花の直売所
会員10名 代表 森田 博
安佐南区山本四丁目
JA広島市山本支店
火曜日10:00~完売まで



◀ フレッシュ土曜朝市
会員31名 代表 百目 正美
安佐北区狩留家町
県道31号線
JA広島市狩留家支店
土曜日6:30~10:00



◀ 上深川フレッシュ会
会員90名 代表 面田 靖子
安佐北区上深川町
県道37号線
JA広島市上深川支店
月・水・金曜日9:00~11:00